

〒184-8511 東京都小金井市桜町 1-2-20 / TEL042-383-4111 (代) [http:// www.sakuramachi-hp.or.jp/](http://www.sakuramachi-hp.or.jp/)

基本理念

私たちはキリストのように人を愛し 病める人、苦しむ人 もっとも弱い人に奉仕します

基本方針

1. 地域医療機関と強い連携を保ち、地域に根ざした信頼される病院運営をめざします。
2. 全人的（身体的、精神的、社会的、霊的）ケアを行います。
3. 全職員のよいチームワークによる患者さん中心の医療を行います。
4. 常に自己研鑽に努め、質の高い、安全・安心な医療を提供します。
5. 患者さんの訴えに誠心誠意耳を傾けます。

年頭の挨拶

病院長 小林 宗光



明けましておめでとうございます。

日頃より桜町病院に多大なるご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。当院は昨年の3月23日に電子カルテシステムを導入いたしました。以前の

システムは検査と処方オーダーのみで外来だけの運用でした。今回は放射線情報システムや画像診断管理システムを加えた多くの部門システムから構築され電子カルテシステムで、院内すべての部署で同時スタートしましたので、導入時の混乱を懸念しておりましたが全職員の努力と患者さんのご協力で順調にスタートすることができました。チーム医療に必要な診療情報の共有、医療の安全性の確保、患者サービスの向上に大きく寄与できるものと考えております。導入に際し、皆様からのご協力にあらためて感謝申し上げます。

桜町病院が地域の皆様のニーズに応えていくためには今まで以上に積極的に地域連携強化に向けた取り組みが必要と考えております。病院、診療所、医師会、訪問看護ステーションとの医療連携にとどまらず、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、福祉施設など介護や福祉の施設とも広く連携を計ろうとしています。昨年の11月11日に小金井市医師会の先生方を御招きして当院の臨床機能をご紹介します、かつ医師会の先生方と「顔の見える」関係を深めるために医療講演会と意見交換会を行いました。今回はホスピス科三枝好幸部長に講演してもらいました。ホスピスマインドや当院のホスピスについての説明があり、オカリナの演奏で締めくくられました。ホスピスの話や心に沁みわたるようなオカリナの音色に涙する先生もおられました。意見交換会では医師会の先生方から「また来年もしましょう」という声をいただきとても好評だったようです。聖ヨハネ会のブログ：「11月11日桜町病院地域医療連携講演会を開催しました」に写真入りで載っています。

震災時の対応については小金井市医師会防災委員会（小金井市のスタッフも出席）で協議を重ねていますが、昨年初めて小金井市の防災訓練に病院も参加いたしまし

た。桜町病院に被災した患者さんが来院、その患者さんを医師会と病院の医師や看護師がトリアージするというものでした。初めての実戦さながらの訓練で多少の混乱はありましたが、近隣の町会の方々も多数患者さん役で参加してくださり、消防や警察の方の見学もあり、防災時の連携のあり方を探る有意義な防災訓練でした。

病院に隣接した戸塚ホールを使用してのミニ市民講座（市民の皆さん向けに病気の管理や健康の増進に役立つ情報をお伝えする小さな講演会）を昨年からはじめましたが、まだ参加される方が少なく開催の仕方に工夫が必要だと感じています。

日常生活圏域の中で医療サービスや介護サービスを利用して住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするための社会の仕組み、いわゆる地域包括ケアをどうするかが問われています。「小金井市の地域包括ケアをどうするか」という議論は今年から多職種のメンバーで構成された委員会でも本格化します。今後桜町病院は、より一層地域に根ざした、地域の医療や介護のスタッフから支持され、患者さんのニーズにも答えられる病院でありたいと思っておりますのでご支援のほどよろしく願いいたします。

患者満足度の高い、職員満足度の高い医療を展開していくためには、スタッフの充実が欠かせません。昨年の4月にはホスピス科部長に三枝好幸医師が、リウマチ関節外科部長（整形外科）に田野倉誠医師が赴任しました。引き続き看護師の確保にも努力してまいります。以前から申し上げておりますように、患者さんの声に耳を傾ける、患者さんの痛みや苦しみを理解する、患者さんの傍に寄り添うケアの姿勢が「桜町マインド」です。職員に「桜町マインド」の浸透を図るために、職員から「桜町マインド」のロゴマークを募集し、昨年の病院の創立記念日に選定された新しいロゴマークを発表しました。「桜町マインドで優しく温もりのある安全・安心な医療の提供に心がける」という患者さんの視点に立った、患者さんに寄り添う医療の提供に今後とも努めてまいります。

最近の病院の動きについて書いてきましたが、最後に新しい年が皆様にとりましても、病院にとりましても、明るい年になりますよう祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

副院長 瀬口 秀孝

2015年の新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、桜町病院を多くの方々にご利用いただき、また、小金井市医師会をはじめ近隣の医療機関には病診連携、病病連携等、日常の診療に多大のご協力をいただきありがとうございました。昨年は、電子カルテの導入、診療報酬改定への対応などで皆様になんか迷惑をおかけしましたが、内科医師、整形外科医師

の増員等もあり、各診療科もさらに充実してきました。よりいっそう皆様のお役にたてる環境が整ってきているのではないかと思います。

今年は、皆さんにもう少し桜町病院をよく知ってもらうための取り組みも行っていききたいと思います。当院が掲げる、「患者さん中心の医療」、「質の高い安全・安心な医療」を実践することを、また、地域に根差した、地域の皆様から信頼される病院であることを目指して職員一同努力してまいります。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新年のごあいさつ 事務部長 富田 周次

新年明けましておめでとうございます。皆さんには健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年も地域の皆様から一層信頼を寄せていただき、診療、サービス、接遇、施設設備など様々な点において満足していただける病院作りに努めてまいります。

昨年は3月末に電子カルテを導入し、より安全な医療を提供できる環境ができたと思っています。患者さんに電子カルテになって良かったと実感していただけるように、引き続き工夫・改善を

進めて参ります。業務改善を進める上に患者さんの声は重要な役割を果たしています。お寄せいただく全ての投書に病院幹部職員が目を通し取り組んでいます。ご意見・ご要望のとおりを実施できないものもありますが、できることは迅速に対応させていただいています。最近、「予約状況をホームページで確認できるようにしてほしい。」「病院は敷地内禁煙であるべきだ。」と言うご要望・ご意見をいただきました。ネット環境の変更は難しくお応えできませんが、敷地内禁煙についてはこれまでの検討を前進させ、これを機に敷地内禁煙の方針を固めました。近いうちに「敷地内禁煙」にする予定です。今後のご意見・ご要望をお寄せ下さい。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新年を迎えて 看護部長 奥野喜美子

新年明けましておめでとうございます。平素は大変お世話になり感謝申し上げます。昨年は多くの自然災害にみまわれ、年末には、爆弾低気圧による大雪による被害など、テレビの放映を目にする度に心が痛む思いでした。1日も早く、通常の生活に戻ることができますよう祈るばかりです。

同じ日本とは思えないくらい新年の東京は、雪の装いの富士山

がくっきりと浮かび上がり、清々しく身が引き締まる思いでした。昨年度の診療報酬の改定では、2025年に向けて、医療機能の分化、転換が大きな課題となり、医療から介護へ、施設から在宅へと、一層地域に密着した医療が求められるようになります。在宅や施設で療養していらっしゃる方々が住み慣れた地域で、ご自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、看護部門も看看連携を推進し、開かれた病院として、少しでも皆様のお役に立つことができるよう、信頼される病院づくりに努力して参りたいと思っています。

本年もどうぞ、よろしくお願ひいたします。

過去の大震災の経験を忘れない

消化器内科部長 村田 直樹

今年の1月17日で阪神淡路大震災から20年経ちます。また東日本大震災からすでに3年と9ヶ月が経過しています。2011年の3月11日は東京でも電車が止まり、道路は車で大渋滞し、歩道は人で溢れ、職場から何時間もかけて自宅まで歩いて帰るといような大変な思いをしました。携帯もつながらず、家族の安否を心配したり、スーパーやコンビニの棚から弁当やおにぎり、パン、即席麺などがなくなり、ペットボトルのお茶や水も手に入りにくくなって、赤ちゃんのミルクを作るのにも大変な思いをした……。そういう経験を忘れていませんか？やれ景気対策だ、やれ東京オリンピックだなどと、踊らされて、日々の災害への備えが少しおろそかになってはいませんか？タンスや本棚が倒れて来て下敷きにならないように補強する、家族と災害時の連絡方法を話し合っておく、1週間はなんとか食べていけるように米や水などを余分に買って置く、停電しても御飯が炊ける用具を準備する、停電してもトイレが流せるようにお風呂に水を張っておくなど、3.11のときにやっておけばよかったと思った日頃の備えをこの機会に見直してみてもはどうでしょうか。

私たち桜町病院も小金井市の災害時の医療拠点病院に指定されていることから、日頃より準備をしています。その一つが昨年11月におこなった、災害トリアージ訓練です。これには病院近隣の町会の皆様にも模擬患者として多数参加して



ただいて、とても有意義な訓練となりました。トリアージとは選別するという意味で、大勢の傷病者の中から短時間に重症度、緊急度の高い傷病者を見つけ出して、手遅れにならないうちに治療に持って行くという大事な作業です。小金井市

と地域の医師会の先生方と協力、連携してこの地域で発生した傷病者をトリアージして、中等症、軽症の傷病者は地域内の適切な場所で診療し、この地域では手に負えない重症者は迅速に近隣の救急救命センターへ搬送する体制づくりを進め



ています。また、小金井市の災害想定のもと、薬剤や食糧の確保、水の確保、自家発電用の軽油の確保なども準備しています。

しかし、災害時には想定外の事がつきものです。想定外の事への対応には、結局ひとりひとりの日々の備えが大事になると考えます。私自身が3.11のときに被災地に医療救護班の一員として派遣された経験をもとにおこなっていることは、ときどき自宅から50分かけて自転車まで来て、病院の近辺を走り回る（近所を知る）、日頃から近隣の住民の方、医師会の先生、訪問看護師さん、保健師さん、市役所の担当の方などと声を掛けあいやすい関係になっておく、職場の机の引き出しに1週間くらい生きて行けるおやつ類を常備しておく、スニーカーを履き、動き易く汚れても気にならないユニクロの服で通勤する（これは以前からでしたが……）etc.。個人的にはこういった日常の延長線上に災害の備えがあるのではと思っています。皆様も阪神淡路大震災から20年というこの機会に災害時への備えについて少し思いを馳せていただければ幸いです。

わたしたち桜町病院も、有事には助けが必要な人に手を差し伸べることができるように全職員で災害に対する備えをおこなっていきたくと思っています。

職場紹介 薬剤科

薬剤科部長 池淵 剛

薬剤科は、薬剤師が常勤・非常勤合わせて7名で日々の各業務を行っています。経験年数による業務内容の若干の違いはありますが、業務ごとに担当を分けることはせずに、薬剤師全員が全ての業務を行っています。

昨年3月の電子カルテ導入に伴い、調剤支援システムが連動するようになり、院内処方せん・注射せんのデータは、医師が入力したパソコン端末から直接薬剤科に転送されるようになりました。調剤室では処方せん、薬剤情報提供書、薬袋が印刷され、処方データに基づいて調剤をしています。

我々が日々行っている各業務を紹介します

- I. 調剤業務：外来患者のお薬は基本的に院外処方せんを発行していますので、調剤室では、入院患者の内服・外用薬を調剤しています。



- II. 注射調剤業務：入院患者一人一人に対して、注射せんに基づき1本出して調剤しています。配合変化・投与ルートを選択の検討や、内服薬との相互作用を

把握し、薬歴管理も行っていきます。

- III. 製剤業務：薬剤科内のクリーンベンチ・安全キャビネットでは高カロリー輸液、入院化学療法注射液の調製を、毎朝行っています。また、市販の医薬品では対応できない薬剤の製剤も行っています。



- IV. 薬剤管理指導業務：入院患者を対象にベッドサイドにて使用薬剤の説明や副作用のチェックなどを行います。薬物療法がより適切に実施されるよう、薬剤師の立場から治療をサポートしています。

- V. 医薬品情報（DI）業務：患者さまや医師・看護師・医療技術者などの病院スタッフに対して医薬品に関する情報の提供を行います。正確な情報提供ができるように、情報の収集・整理に努めています。

- VI. 病棟業務：病棟配置薬の管理やカンファレンスの参加など

他にも新しい情報・知識を得るための勉強会や、医薬品購入、在庫管理など院内薬品の円滑な供給などさまざまな業務があります。

それぞれの業務を、薬剤師として、桜町病院で扱われるすべての医薬品に関して、主体性をもって責任を果たせるよう日々努力をしていきたいと思っています。

トピックス

小金井自衛消防隊訓練発表会で最優秀賞受賞

9月16日（火）小金井消防署主催の自衛消防隊訓練発表会が小金井公園の江戸東京たてもの入口広場で開催された。当院からは消火器の部に放射線科の沖山勝さんと南3階病棟の漆坂香織さんが参加した。防火管理者の指導を受けた成果を遺憾なく発揮し最優秀賞を受賞した。

第50回日本カトリック医療施設協議会全国大会参加

10月31日（金）と11月1日（土）の2日間、宮城県仙台市において第50回日本カトリック医療施設協議会全国大会が、日本カトリック医療施設協議会参加施設から百数十名が参加して開催された。ミサ、講演、事例発表、被災地視察ツアーなど被災地東北復興への思いを込めた充実した大会であった。当院からは、ホスピス科大井医師から「被災地でのグリーフケアにつながった緩和ケアの力」の発表があった。また、功労者表彰では当院から川原田師長と加嶋前リハ科長が表彰された。



桜町病院地域医療連携講演会開催

11月11日（火）、小金井市医師会の多くの先生方に参加いただき、講演会と意見交換会を開催した。施設完結型医療から地域完結型医療への流れが加速する中で、地域の先生方との情報の共有は益々重要となってきています。今回は当院ホスピス科三枝部長の「ホスピスについて」の講演とパーティー形式で



の意見交換会を行った。これからも回を重ねていきたいと考えている。

「桜町マインドロゴマーク」決定

当院では、桜町マインド、すなわち「患者さんの声に耳を傾ける」、「患者さんの痛みや苦しみを理解する」、「患者さんの傍に寄り添う」ケアの姿勢を持って患者さんに接するマインドの浸透を続けていますが、そのシンボルマークを決定しました。



これからも、温かくやさしい信頼をいただける医療・看護の提供に努めて参ります。

創立記念式典開催

昨年、当院は戸塚神父が病院を創設されてから75周年目を迎えた。10月17日に開催した記念式典では渡邊理事長と小林院長の挨拶に続き、30年、20年、10年勤続者の永年勤続者表彰、自衛消防隊訓練発表会で最優秀賞を受賞した2名及び桜町マインドロゴマークを提案し採用された2名の表彰が行われた。その後のパーティーでは、過日決定した「桜町マインドロゴマーク」を披露した。

クリスマス会

平成26年12月16日（火）病院のクリスマス会が開催された。「祈り」から始まり、ディーン神父様から貴重なお話をいただき、会が開催された。

今年は例年以上に、多くの参加者があり、会場一杯の熱気に包まれた中、医師によるギター演奏やオカリナ演奏、歌声も講堂に響き渡り、大盛況のうちにキリストの誕生を祝った。

母親教室のご案内

妊娠や出産について必要な知識や実際に役立つ情報を学び、お友達を作り、充実したマタニティライフを過ごしていただくために、当院では都合3回の母親教室を開催しております。第1回目は、妊娠16週以降の方、第2回目と第3回目は妊娠30週以降の方が対象です。産婦人科医師、小児科医師や助産師等がお話し、悩みや不安を解消するお手伝いをします。各回の内容については申込時や当院のホームページでご確認ください。各回ともご主人の参加が可能です。

お申込み 予約制となっておりますので、ご希望の方は、2階外来受付にお申し出ください。
開催日時 第1回目：毎月第2火曜日
第2回目：毎月第3火曜日
第3回目：毎月第4土曜日
各午後1時30分～午後4時
受付：午後1時15分～1時30分

場所 桜町病院別館3階
持ち物 母子健康手帳、筆記用具、母親学級資料（第1回目に配布したもの）、アンケート用紙（第1回目のみ、お持ちでない方は当日お渡しします。）

料金 無料です。
病棟見学 病棟見学は、第1回目・第2回目の15時30分から予定しております。ただし、インフルエンザ等の流行期には映像でのご案内になることがありますので、ご了承ください。

ご注意 第2回・第3回は、当院での分娩を予定している方に限ります。祝日等により日時を変更することがありますので、予約時にご確認ください。

まなざしのご案内

まなざしは当院で出産後6ヶ月までのお母さんを対象とした子育て支援の会です。お母さんのお友達作りの場を提供しながら、赤ちゃんのことや子育てについて小児科医や助産師が気軽に相談に応じています。毎回30～40名程の参加があります。

お申込み 産科退院時に予約して下さい。

開催日時 第2、第4水曜日
午後1時～午後3時

場所 桜町病院別館3階
料金 無料です。



産婦人科4D超音波外来のご案内

4D超音波とは通常行っている妊婦健診の超音波画像を立体的、さらに経時的に映像でお見せするものです。立体的に見えるため、赤ちゃんの表情や手足の状態をよく観察することができます。これから生まれるお子さんの表情を写真におさめておくのはいかがでしょうか？今だけしか見ることができない赤ちゃんの写真をプレゼント致します。

現在4D外来は月曜日の午後3～4人予約制で行っております。おすすめは妊娠20週～26週頃です。胎児の姿勢や向き(うつぶせ状態など)によって表情をうまく観察できない場合もあります。ご家族と一緒にどうぞお気軽にご相談下さい。

ホスピス外来のご案内

当院のホスピス外来は完全予約制で、平日月曜日から金曜日の午後に行っています。

ホスピスは治療が困難と判断されたがん患者さんの痛みや苦しみを和らげ、難しい病気を抱えつつもどうしたらうまく病気と付き合っていくかを一緒に考えていくところです。ホスピスをご理解いただいた上でそんなところなら行ってみたいとお考えの方は、まずホスピス相談窓口へお電話ください。外来予約が混み合っている場合には、ご病状によりキャンセル待ちなど日程を早められることもありますのでご相談ください。

外来受診の際は、病状を正確に把握するため、できるだけおかけの医療機関の紹介状をお持ちください。外来受診後ご希望によりホスピス病棟を見学することも可能ですので担当医にお申し出ください。

ご相談専用電話：042-388-2888

ご相談受付時間：土・日・祝を除く月曜～金曜9時～12時、14時～17時



(ホスピス棟玄関)

ブライダルチェックのすすめ

結婚し子供を授かりたいと願うことは女性にとって自然なことです。

しかし、近年晩婚化がすすみ結婚後に挙児希望があってもなかなかスムーズに妊娠に至ることが難しくなっています。それまでに、婦人科を受診する機会がなかったため、婦人科疾患を患っていても気づかず過ごしている方も少なくないためです。そのため、結婚後に受診した場合、不妊のために手術が必要な方や、妊娠中に手術を行う方もいます。もちろん、妊娠中の手術は母体・胎児にもリスクを伴います。

今後、御結婚の予定のある方、また自分の状態を調べてみたい方、今一度、ご自身の身体だけではなく、大切なパートナーや生まれてくる赤ちゃんのために検査を受けてみてはいかがでしょうか？ブライダルチェックはそんな女性を支えるための検査です。

基本的な血液検査、子宮頸がん検診、感染症検査（肝炎、HIV、梅毒、クラミジア検査、風疹抗体など）、超音波検査（子宮筋腫、卵巣嚢腫など）を行っています。どうぞお気軽にご相談下さい。

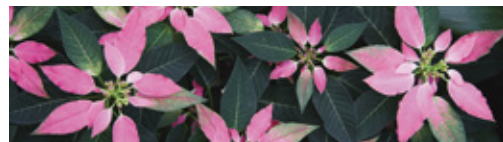
患者さんの権利と責務

患者さんの権利

1. 人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利があります。
2. どなたでも、どのような病気でも平等かつ公平な医療を受ける権利があります。
3. 病状と経過、検査や治療の内容について、分かりやすい言葉で説明を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報に基づき、自らの意思で医療内容を選ぶ権利があります。
5. セカンド・オピニオンを希望される場合は、当院は快く診療情報を提供します。

患者さんの責務

1. 病状などに関する情報提供に努める責務
ご自分の症状や健康に関する詳細で正確な情報を医師や看護師等へ提供することにご協力ください。
2. 適切な医療行為が提供できるように努める責務
病院内では、他の患者様等に迷惑にならないように静粛を保つとともに、当院職員が適切な医療を行えるようにご協力ください。
3. 病院秩序を守る責務
病院内の秩序を守るために、当院の諸規則に従ってください。
4. 診療費支払いの責務
病院は診療報酬によって運営されています。医療費の支払い請求を受けた時は速やかなお支払いにご協力ください。



編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年も日本各地で甚大な自然災害が、世界各地で紛争やテロが多発し、深刻な被害が出ています。今年こそは平穏で安泰な年になりますよう祈念しています。

(周)